

1 第9次土浦市総合計画基本構想（素案）抜粋【資料Ⅲ】について

No.	主な御意見等	回答・対応
1	<ul style="list-style-type: none"> 大きな目標とリーディングプロジェクトや基本目標をつなぐ、新たに追加された「将来像を支える3つの視点」については、とても大事であるし、入れた方が良いが、もう少し検討が必要である。1つ目と2つ目はタイトルだけ見ただけでは、何を目指しているかが少し分かりにくい。1つ目は人に着目しているので、「人と人、人と地域の～」と書かずとも、単に「地域のつながりによって、社会を支える」で分かるし、2つ目は「本市の内外につながり」という表現が逆に分かりにくく、観光や産業面に着目するのであれば、「地域の資源を生かして活力を生み出す」といった書き方にする方が分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来像を支える3つの視点（資料Ⅲ 2～3頁）につきましては、御意見を踏まえ、視点1についてはタイトルを「人と人がつながり合い、地域社会を支える」に、視点2についてはタイトルを「本市ならではの魅力を通じて地域の活力を生み出す」とするとともに、内容につきましても、具体性を持たせるよう再精査しました。
2	<ul style="list-style-type: none"> 市外からの定住者を増やすという観点では、市外の人たちは、土浦市に住むかどうかを決めるに当たって、具体的に土浦市に住むのにどんなベネフィットがあるのかを見るのに、例えば、新聞に掲載されている「共働き子育てしやすい町ランキング」や「テレワーク環境充実度ランキング」などを参考にしていると考えているが、土浦市が一切上位に入っていない。このような状況に対する土浦市の具体的な対応策について、今後のディスカッションの中で、例えば、具体的に何位を目指すかといったことに関する議論はできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回策定する総合計画では、社会経済情勢等の急激な変化を踏まえ、本市の今後の政策方針を示すものであり、個別具体的な施策・事業については、この総合計画の下部計画となる個別計画において検討していきたいと考えています。 資料Ⅲの4頁にあるとおり、本総合計画で位置付ける基本目標については、各分野の個別計画において進行管理を行うとともに、本総合計画においては、個別計画における施策・事業の実施により発生する効果・成果を表す指標と指標に対する目標値を基本目標ごとに設定し、その達成状況を、個別計画の進行管理を通じた事務事業評価や市民満足度調査（アンケート）などにより分析・評価したいと考えています。 ここで、上述の成果指標については、第9次土浦市総合計画資料編（案）（資料Ⅳ）のとおりとなります。この成果指標

No.	主な御意見等	回答・対応
		<p>については、基本目標全体を包括する観点と複数の政策方針に関しバランスよく抽出する観点に加え、相対評価により本市の立ち位置を把握する観点から他の自治体と比較できる国や県の統計調査項目も参考に設定しており、こうした成果指標における目標値の達成が御意見にある民間の市町村ランキング調査におけるランキングの改善にもつながると考えています。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> 資料Ⅲの6頁において、「特に20歳代後半から30歳代といった若い世代において転出超過の傾向が顕著な状況が継続しています」という表記があるが、例えば、近隣市町村のうち、どのような所が人口が増えているのか、土浦市の状況だけではなく、周りのデータを分析をし、増えているところはどうかといった対策を行っているのかといった観点からの資料をお示していただくと良いアイデアが出てくるのではないかと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見の部分につきましては、令和2（2020）年の県内外の年齢（5歳階級）別の社会移動の状況及びその分析結果を資料Ⅲの17～18頁に掲載しました。これを踏まえて、同資料の34～37頁にあるとおり、本市の現状を踏まえた課題の取りまとめを再整理した上で、こうした課題に対する政策方針を各基本目標で位置付けています。 また、本総合計画は、本市の今後の政策方針を示すものであり、ここでは、社会経済情勢等の変化による本市の課題の分析及び抽出と本総合計画に続く個別計画がこうした課題に的確に対応できる施策・事業を実行できるよう、本市のこうした課題に対する今後の方向性を確実に定めることを主眼とした上で、個別具体的な施策・事業については、本総合計画の下部計画となる個別計画の中で検討していきたいと考えています。
4	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において、東京一極集中によるリスクが顕在化しており、テレワーク等が可能な東京近郊の都市は魅力度も上がってくるはずである。ここで、土浦の将来展望を考えた場合、交流人口や流域人口などの観点から、周辺地域も含めて、将 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見のとおり、コロナ禍において、本市をどうPRしていくかが大きな課題となると考えています。本市のPRについては、令和元年度に策定した「第2期つちうらシティプロモーション戦略プラン」に基づき、各種施策を実施してござ

No.	主な御意見等	回答・対応
	<p>来人口が減少していく中で、土浦がこの地域の中心自治体として取り組んでいく強い姿勢についても、9次計画にも反映させることが重要であり、流域という考え方においても、この地域の確固たる地位を築いていくことになるのではないかと。</p>	<p>すが、例として、今年度は、コロナ禍を踏まえ、移住定住に関する施策については、テレワークと自転車をかけ合わせた体験ツアーやWeb会議システムを活用した移住相談会などを企画しており、今後も、注目(Attention)が関心(Interest)を呼び、関心を呼んだものを検索し(Search)、検索したものを購入し(行動:Action)、最終的に口コミなどで情報を共有(Share)するネット社会の購買プロセス(AISAS)を十分踏まえた施策に取り組んでいきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ また、本市は、地方創生の推進において、広域連携の視点が重視されていることから、近年、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」や「筑波山地域ジオパーク」を活用した観光分野や地域公共交通の総合的な確保・維持・改善策において、周辺地域とのネットワークの形成を進めています。また、今年度からの新たな取組として、本市を代表自治体としてサイクリング環境を共有する霞ヶ浦北岸に位置する行方市、潮来市、かすみがうら市と共同によるサイクリングを活用した地域活性化事業も行っています。 ・ 今回の御意見を踏まえ、資料Ⅲの34～37頁の本市の現状を踏まえた課題の取りまとめの中で、広域連携における本市の中心都市としての役割について言及しました(資料Ⅲ37頁)。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少は全国的な問題であり、短期間取り組めば人口が増えるといった簡単なものではないと思う。要は、他の自治体と比べて、土浦の良くない部分を取り上げるのではなく、災害が少なく、ここに住みたいといった意見を聞くことも多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御意見のとおり、本市は、東京圏に近いという地理的優位性を持ち、JR常磐線を軸に交通利便性が高いこと、また、商工業を中心に発展しており、業務が集積していることから県南地域の拠点性を担っているといった利点があります。ま

No.	主な御意見等	回答・対応
	<p>ことから、土浦の良い部分を見出していく視点で考えていくのも大きなポイントであると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> リーディングプロジェクト1で「子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり」が挙げられているが、子どもが主体というよりも、大人が子どもにしてあげようという視点しか入っていないように思えるので、子ども主体の視点を入れた方がよいのではないか。 また、このリーディングプロジェクトの政策方針1の主導する取組に、幼稚園の整備が取り上げられているが、今後10年間の取組として位置付けるものなのか。また、セーフティネットとしての公立保育所を位置付けについては、民間保育所では子どもの受入れに限界があるため、公立の保育所で受け皿になるようなニュアンスで理解したが、子どもは、いろんな子どもがいる中で育つことが大事であると思っている。したがって、民間保育所であっても、様々な問題を抱えた子どもたちも受け入れられる施設が増えるような施策に変えてもらいたいと思う。 	<p>た、自然環境や歴史文化や観光において数々の地域資源を有するほか、全国有数の特産物もあることから、これらを生かしたまちづくりと合わせて、土浦の新たな魅力を創造することで本市の発展につなげる視点についても、資料Ⅲの34～37頁の本市の現状を踏まえた課題の取りまとめの中で言及しています（資料Ⅲ35～36頁）。</p> <ul style="list-style-type: none"> また、資料Ⅲの47～48頁リーディングプロジェクト1に関する御意見につきましては、御意見を踏まえ、このプロジェクトの考え方については、子どもたちが地域とのつながりの中で心身共に健やかに成長できることを主眼とした内容に改めました（資料Ⅲ47頁）。 合わせて、このプロジェクトの政策方針1につきましては、公立保育所が中心となり、主導して、市全体で子ども子育て支援を行っていくという考え方の基、認定こども園の整備を含め、公立と民間が一体となって本市の保育の質の向上につなげる観点からの表現となるよう再精査を行っています（資料Ⅲ47頁）。
6	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少対策について、この総合計画では、交流人口や関係人口を定住人口につなげていきたいということであるが、市の基本方針を作る上で一番大事なものは、人口をどのように定住させるかではなく、昔から住んでいる人たちがいいなと思うまち、そこに新しい人たちが来ても、昔から住んでいる人の生活が魅力あると思えるまちづくりの視点が大切であり、例えば、最近のデジタル化社会の中で、通勤しなくても済むテレワークなどの環境を中心市街地に整備したりすれば、自 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見のとおり、本市におきましても、人口減少対策は、いかに人を呼ぶかに終始するのではなく、まずは、今住んでいる人の生活利便性を高めることが重要であり、市民満足度の評価を高めることで、その効果として人が集まるという考え方が基本であると考えています。 したがって、資料Ⅲの34～37頁の本市の現状を踏まえた課題の取りまとめのうち「(4) 土浦の特性を生かした将来に向けての取組」において、市民満足度調査の結果においても、

No.	主な御意見等	回答・対応
	<p>然に定住人口が発生してくるのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の自治体では、住民が結婚して、将来子どもが生まれることを見越したまちづくりを行っていた。仕事が必要であろうということで、工業団地を作り、子育てするには、共働きもあるだろうということで、保育所も作っており、こうした他の自治体の良いところを取り入れてほしい。また、今まで住んでいる人が素晴らしいと思う点は残してほしいと思っており、こうした観点からも総合計画を考えていただきたい。 	<p>「駅前など中心市街地のまちづくり」、「バス路線や鉄道などの公共交通網」、「バリアフリーによる施設や道路の整備」、「公園、子どもの遊び場などの整備」といったまちづくりの項目において、市民の関心が高いものとなっていることから、公共交通を軸としたまちづくりによる市民の日常生活の利便性を高めることに言及する（36頁）とともに、同資料の38頁の将来像のうち、「元気のある土浦」の概念においても、文頭に「あらゆる面から市民の暮らしを豊かにする」という姿勢を打ち出しており、合わせて、時代と共に多様化・高度化するライフスタイルに起因する新たな生活ニーズに柔軟に対応することで、本市の魅力を創造し、定住人口の増につなげていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> また、委員の御意見にあった他の自治体の事例については、本市と人口規模が異なることから、本市で実施できる施策に限界はありますが、考え方として参考にできる部分は参考にし、取り組んでいきたいと考えています。
7	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに関しては、働く母親が保育園に子どもを預けても、子どもが熱を出したら仕事でも迎えに行かなければならず、結局仕事で大事な役を任せてもらえないことから、病児保育のようなそのまま預かってくれるところがあれば、そのまま仕事をできるのではないかと、といったような意見を書かせていただいた。 人口減少については、他の自治体と比較するのではなく、他の自治体では行っていないような新しい独自の取組があると人も集まってくるのではないかと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 病児保育については、本市でも実施していますが、預かっている保育所で病児保育が実施されていない場合は、迎えにいかないといけないという制度の挟間になっているケースであり、利用の方法を工夫する必要があると考えています。 人口減少下における本市独自の施策としては、例として、子育てに関しては、希望する子育て世帯に対して、ワクチン接種時の子どもの無料一時預かりを実施しており、今後も、創意工夫のもと、新しい取組を検討していきたいと考えています。

No.	主な御意見等	回答・対応
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ この計画が具体的な成果に結び付くよう、効果を具体的にできるだけ物の項目に落とし込んでいただきたい。具体的な成果については、行政の所掌する部分は企業とは異なり、金額で投資対効果を評価できない部分もあるとは思いますが、先進国の中には、与えるサービスを金額に換算し、効果を検証をしている国もある。 ・ また、絶対値で効果の評価をすると同時に、フォローアップを行うことが大事であり、国や県の指標や評価基準を参考に指標を設定し、土浦市はどういう位置付けになっているのか評価をして、その評価に基づき、具体的な目標を具体的に作り、方向付けを行っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市も計画と合わせてフォローアップを行うことは重要であると考えていることから、資料Ⅲの4頁にあるとおり、本総合計画で位置付ける基本目標については、各分野の個別計画において進行管理を行うとともに、本総合計画においては、個別計画における施策・事業の実施により発生する効果・成果を表す指標と指標に対する目標値を基本目標ごとに設定し、その達成状況を、個別計画の進行管理を通じた事務事業評価や市民満足度調査（アンケート）などにより分析・評価したいと考えています。 ・ ここで、上述の成果指標については、第9次土浦市総合計画資料編（案）（資料Ⅳ）のとおりとなります。この成果指標については、基本目標全体を包括する観点と複数の政策方針に関しバランスよく抽出する観点に加え、相対評価により本市の立ち位置を把握する観点から御意見にあるような他の自治体と比較できる国や県の統計調査項も参考に設定しています。

No.	主な御意見等	回答・対応
9	<ul style="list-style-type: none"> 資料Ⅲの1頁の下で、「長きにわたる土浦の歴史と伝統の中で培われてきた本市の「地域の宝」に磨きをかけることで、「地域の宝」で人を呼び込む」とあるが、個人的に土浦の歴史や伝統で思い浮かぶものがあまりないので、既存の地域資源の活用だけでは、人を呼び込むのに不十分だと思う。人を呼び込むテレワークのしやすさ、子育てのしやすさ等を前面に掲げるなど、新しい地域の魅力を作り込む必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見につきましては、まずは、土浦の宝である「地域の宝」を磨き上げることで、本市の魅力を創造したいと考えており、具体的には、筑波山麓から霞ヶ浦一周のサイクリングルートという地域資源を活用したサイクリング事業による魅力発信により、観光入込客数も増加している状況があります。 今回頂いた新しい地域の魅力の創出に関する御意見につきましては、御意見を踏まえ、資料Ⅲの34～37頁の本市の現状を踏まえた課題の取りまとめのうち「(4)土浦の特性を生かした将来に向けての取組」において「土浦の新たな魅力を創造する」観点について言及するとともに(36頁)、同資料の38頁にある将来像の概念のうち「元気のある土浦の創生」及び56頁の基本目標2「未来につなげる魅力あるまちづくり」の考え方において、時代の流れを意識した「新たな地域の魅力を生み出す」観点から表現を追加しました。
10	<ul style="list-style-type: none"> リーディングプロジェクト1の「ママになるなら土浦市」というフレーズについて、他の自治体ですでに使われている上、ターゲットは「ママ」だけなのか疑問に思う。土浦市は同居率、近居率が相当高いと思われることから、子育ては「パパ」や「祖父母」にも参加してもらおうという視野も含まれるのではないかと思うので、再度、誰をターゲットにするのか、また、そのターゲットに対して、この言葉で響くのかを改めて確認していただきたいと思う。 リーディングプロジェクト1の「ママになるなら土浦市」について、非常に違和感を覚えた。アンコンシャスバイアスで男性も女性も性別役割分担意識を持っており、この表現が違 	<ul style="list-style-type: none"> 資料Ⅲの47～48頁のリーディングプロジェクト1の考え方につきましては、今回頂いた御意見を基に再度精査し、子どもたちが地域とのつながりの中で心身共に健やかに成長できることを主眼とした内容に改めるとともに、フレーズにつきましても、子どもを主体とする観点から「かがやけ！土浦の子どもたち」に改めました(資料Ⅲ47頁)。

No.	主な御意見等	回答・対応
	<p>和感なく受け入れられることを危惧しており、男女共同参画の基本的な考え方から、思い込みで「ママ」「パパ」と区別せず、男性も女性も平等に参加できるよう、行政がリードし、市民の気持ちに入っていくしてほしい。</p>	

2 審議会終了後意見書で頂いた御意見について

No.	主なご意見等	回答要旨
1	<ul style="list-style-type: none"> 基本施策設定による総合計画の骨子が見えてきたが、これから大切なのは、各目標が具体策によりどの程度改善されるかを評価しながら活動を進めることと思う（PDCA）。そのためには、目標設定と現状認識の評価をどうするかが重要な課題となる。この評価を実施しないと、具体策の進捗のみの評価が進められ、結果として、目標にどの程度近づいたのかという本質的な評価が行われないこととなる。 これを防止するための提案として、各項目の設定目標を設定することは難しいが、各項目に相関度の高い各種県把握の指標を抽出し、県内市順位により相対的位置を評価してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料Ⅲの4頁にあるとおり、本総合計画で位置付ける基本目標については、各分野の個別計画において進行管理を行うとともに、本総合計画においては、個別計画における施策・事業の実施により発生する効果・成果を表す指標と指標に対する目標値を基本目標ごとに設定し、その達成状況を、個別計画の進行管理を通じた事務事業評価や市民満足度調査（アンケート）などにより分析・評価したいと考えています。 上述の成果指標については、第9次土浦市総合計画資料編（案）（資料Ⅳ）のとおり、基本目標全体を包括する観点と複数の政策方針に関しバランスよく抽出する観点に加え、相対評価により本市の立ち位置を把握する観点から他の自治体と比較できる国や県の統計調査項目も参考に設定しています。
2	<ul style="list-style-type: none"> 「基本目標7」4、人と環境にやさしい上下水道の確保は、他目標と比較すると、具体策の内容を示しているので、「・・・ 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見を踏まえ、資料Ⅲの68頁の基本目標7の政策方針4につきましては、タイトルを「人と自然にやさしい水環境の

No.	主 な ご 意 見 等	回 答 要 旨
	<p>上下水道の確保」の表現を「・・・水環境の維持・改善」に変更し、上下水道の整備は具体策の一つとすればよいのではないか。</p>	<p>維持・改善」に改めました。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来の総合計画の種々施策を役割分担でみると、行政はもちろんであるが、市民及び事業者の役割が大きく目標値を達成するためには、いかに市民を巻き込んだ活動とするかがポイントと思われる。この対応として以下の2点を提案する。 <ul style="list-style-type: none"> ①企業における小集団活動の機能を、町内会の活動化に適用する。(参画意識の向上、地域の宝探し等に効果) ②脱炭素、防災、産業の活性化等、今後ますます専門的な見識に基づく活動が重要となってくる。 ・ このため、行政の部単位の具体策の展開に併せ、広く市民より専門知識を持った組織、人材を見い出し、活動に組み入れ、実効果の向上を図る仕組みづくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御意見のとおり、総合計画に基づく各種施策の実施には、市民及び事業者の役割が大きく作用すると考えております。本市では、これまで、市民との協働によるまちづくりを進めており、地域貢献の観点から企業の意識も向上していると認識していることから、今回御提案いただいた内容につきましては、今後施策を展開する上での参考とさせていただければと存じます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料Ⅱの総合計画フロー図は分かりやすく、方向性として、8つの基本目標とリーディングプロジェクトも良いと思うが、具体的にはどういうことを行うのが重要であり、他の市町村よりもレベルの低い、あるいは、上手く行かなかったことを繰り返すなどは避けるため、具体的に県内の他の市町村ではどういうことをしているのかなど情報やベンチマーク、また、土浦市では、この最近の数年でどういう施策が実行されて、どう良くなったのかも纏めて整理して、併せて提示していただけると議論が深まると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御意見の部分もあるかと存じますが、本総合計画は、本市の今後の政策方針を示すものであり、ここでは、社会経済情勢等の変化による本市の課題の分析及び抽出と本総合計画に続く個別計画がこうした課題に的確に対応できる施策・事業を実行できるよう、本市のこうした課題に対する今後の方向性を確実に定めることを主眼とした上で、個別具体的な施策・事業については、本総合計画の下部計画となる個別計画において検討していきたいと考えています。 ・ また、本来であれば、次期総合計画については、現総合計画の計画期間完了年度に向けた総括を実施した上で策定するものですが、今回は、新型コロナウイルス感染症の世界的流

第3回土浦市総合企画審議会での主な意見とその対応について

No.	主なご意見等	回答要旨
		<p>行の与える影響を考慮し、現計画の計画期間の終了を待たずに行うものであり、現計画の施策の成果を評価できる段階ではないことから、第9次土浦市総合計画資料編（案）（資料Ⅳ）において、各基本目標に位置付けた個別計画を提示したいと考えています。</p>